

株主提案の増加、改訂CGコード対応

2019年6月 株主総会分析

- I** 大型連休で総会準備に影響が
本年6月総会の全体状況
- II** 役員選任議案の賛成率が低下
コーポレート・ガバナンスの取組みと開示状況
- III** 株主アクティビズムが浸透
機関投資家の議決権行使の状況

2019年3月決算会社が6月に開催した株主総会の特徴として、株主提案の活発化や機関投資家の議決権行使基準の厳格化、昨年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードの対応後初めての株主総会であることなどが挙げられる。また、即位の礼に伴う大型連休も招集通知の発送作業等に影響を与えたようである。そこで、今6月総会の状況を分析し、まとめてもらった。これからの総会対策や来年の総会の準備の参考にいただければ幸いである。